

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	福祉保健部 (健康医療担当理事)
部(局)長名	石田 就平

【達成度について】

- A：達成（設定した目標を達成することができた。）  
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）  
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	健康寿命の延伸に向けた取組の推進	<b>全体の達成度</b>  <span style="font-size: 2em;">B</span>  一部達成
目指すべき方向	これまでの健康保持増進施策に加え、健康寿命延伸に向けた取組を新たに進めます。	

活動目標	具体的な取組実績
地域密着型の健康管理拠点を広く整備すること等により、市民自らが健康管理を行う機会を増やします。	平成26年度の37か所から、平成27年度は全体で53か所まで整備しました。
市民が主体的に健康・医療のまちづくりに参加する取組を進めます。	市民及び地区福祉委員会委員を対象に、「すいた健康サポーター事業」を実施しました。



達成目標	達成状況	達成度
健康管理拠点拡大モデル事業（すいたマチなか保健室）を引き続き実施し、利用者数の向上をめざします。	市の公共施設を中心に、民間施設も全体の半数近く設置し、ほぼ全市的な広がりと同様な施設に設置できました。 しかし、利用率については低く、平成26年度、月平均約21人から平成27年度、月平均約25人とあまり伸びがありませんでした。	<span style="font-size: 2em;">B</span>  一部達成
健康づくりを推進するすいた健康サポーターを養成し、地域において健康づくりの輪を広げ、健康づくりの意識の向上を図ります。	「すいた健康サポーター事業」を実施し、今後、地域で健康づくりを広めていただくすいた健康サポーターとして83人に、修了証を交付しました。	<span style="font-size: 2em;">A</span>  達成

## 総合評価・総括

「健康管理拠点拡大モデル事業」については、テレビ電話による健康相談だけでなく、血圧計、体重計なども設置し、市民が健康づくりに取り組む拠点として整備できました。しかし、市民の利用頻度は低く、今後は他の事業とも連携しながら、更なる利用率向上を目指します。

また、「すいた健康サポーター事業」については、参加者も多く、自らの健康づくりの推進とともに、地域での健康づくりの推進に努めました。